

## A photograph of a high-speed train, likely a Shinkansen, crossing a bridge over a multi-lane highway. The train is white with blue and grey accents. The bridge has a reddish-brown steel structure. The highway below has several lanes with cars. The surrounding area includes green grass and some trees.

不安がいっぱい ナノニ<sup>ooo</sup>  
疑問  
このまま “推進” でいい

リニア中央新幹線は「この秋にも着工へ」とJR東海が急ぎに急いでいます。けれど、騒音や振動、磁界（電磁波）や磁気圧波、土壌、地下水、動植物と生態系、文化財等への悪影響など、どうなるのでしょうか。長期の工事期間中に走り回る工事トラックの暮らしへの影響は？ ばく大な量の残土が何をもちらすか？ その残土にウラン成分が含まれていたら？ 中間駅ができて「人が集まる」としても、日照等を奪われる地元の暮らしや生業はどうなる？

●日本共産党の詳しい見解はホームページで

**日本共産党**

JRの「環境影響評価準備書」に対し、地元市長らの意見をふまえ県知事も「意見書」を提出しました。リニアそのものは「歓迎・推進」の立場ですから、JRへの「迫り方」も強くはありません。それでも「生活環境への懸念」など58項目の意見を述べ「地域住民に丁寧に説明を」と求めざるをえませんでした。それほどにJR東海の「説明」は住民の納得から程遠いものだ、ということが実証されています。

ご一緒に声をあげましょう



リニアの予定沿線7市町の有志の方々に「リニアを考える岐阜県民ネットワーク（準）」が発足し、私も馳せ参じました。安静な暮らしや環境をどう守っていくのか一緒に考え、JR 東海に「住民の声を聞け」と迫っていこうという運動で、国会請願署名も新たにスタートさせることになりました（署名用紙はこの裏面にあります）。署名を国会へ届けるときは、私も一緒に上京します。暮らしと地域のために、党派や立場の違いを超えて力をあわせましょう。

●日本共産党中津川市委員会副委員長

木下りつ子

私も力を  
あわせます

**JR  
東海は**

着工ゴリ押しでなく  
まずは

住民にまともな対応を

まづは

岐阜県民報

**2014年4月 号外** 発行 / 岐阜県民報社 岐阜市千石町 1-12 ☎058-265-3873  
日本共産党の見解・主張などについて紹介します。

